



PFU のイメージビジネスへの取組み

PFU's Challenge to the Image Business



プロダクト本部
イメージビジネス営業統括部
第一営業部長

佐藤 伸一

「情報を制するものがビジネスを制する」と言われています。そして、ビジネスが対象の企業だけでなく官公庁や自治体などの組織では「情報を制する」、すなわち「情報を有効に活用」するため IT 化を推進しています。しかし、IT 化で組織が情報を有効に活用しているかと聞かれると、残念ながら溢れかえる情報、すなわち文書に埋もれているのが実情です。この文書に対して、「文書の一元管理」、「保管費用の削減」、「検索性の向上」そして「ペーパーレス化」を具体的な課題と考えている組織が非常に多くあります。この課題の大きな原因には、組織の文書の多くが紙文書であって、電子化されていないことが挙げられます。そのうえ、一人が業務で作成する紙文書は、A4 用紙で換算すると年間 700 枚を超えるとされており、7 年間分を積み重ねると 1 m の高さにもなります。このように益々紙文書が増加しているのが社会の実情です。そのために、組織では、紙文書の保管スペースの増加や情報検索に掛かる時間、伝票のデータ化コストの発生、重要文書の危機管理などが課題になっています。

当社は、業務用ドキュメントスキャナと、OCR やイメージ処理技術をベースに紙文書の電子化を通して、入力 活用 保存という紙文書ライフサイクルの情報活用を促進する「Archives」と「Forms」ソリューションを提供します。図 - 1 に PFU の紙文書電子化ソリューションの商品体系を示します。

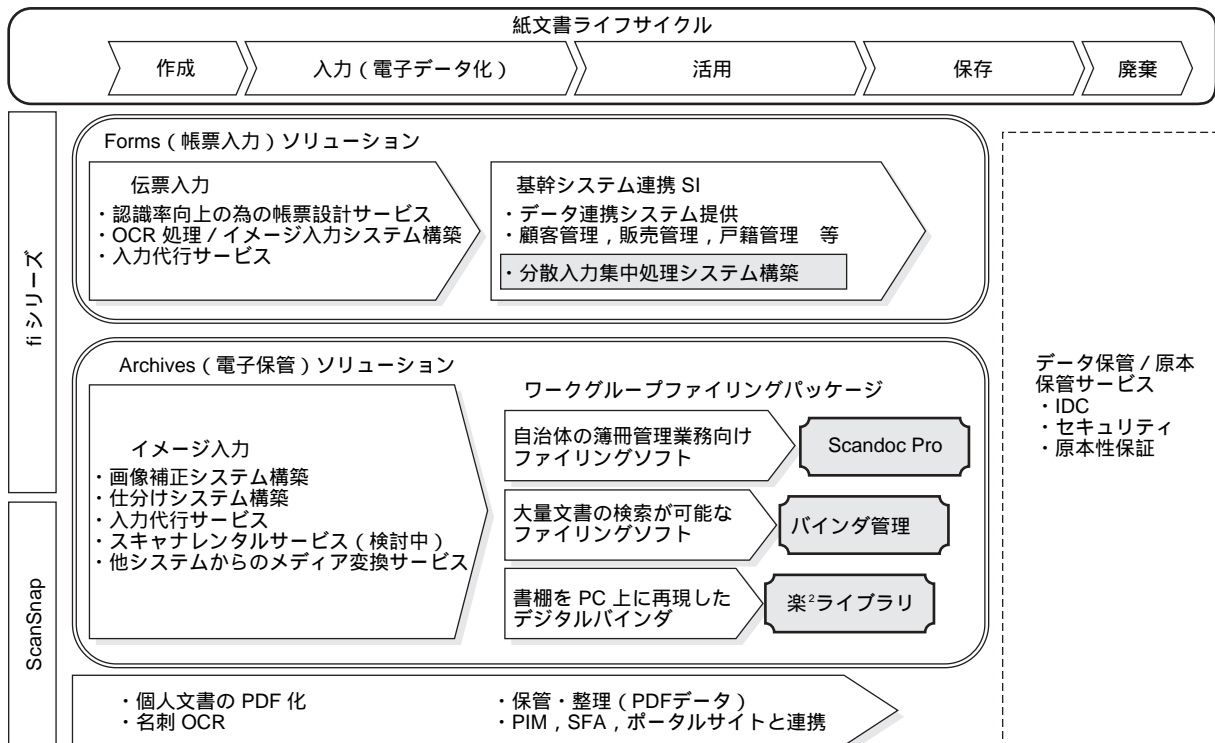


図 1 PFU 紙文書電子化ソリューションの商品体系
(Fig.1-Product structure of the PFU hardcopy-to-electronic-form solution)

1 PFU イメージソリューション

(1) Forms (帳票入力) ソリューション

組織の IT 化が進む一方で、申込受付や受注処理には紙や FAX (紙文書) による業務が残り続けており、多くの経営資源を費やしています。

Forms ソリューションは、紙文書の受付、データ化、基幹システムへの投入といった一連のデータフローに業務用スキャナを活用した IT 化を図ることで、紙文書に拘束される経営資源の解放を目的としています。

最近では、効率化に加えて個人情報保護を目的とした IT 化の傾向が顕著になってきている分野です。

(2) Archives (電子保管) ソリューション

組織内に存在する紙文書の 8 割以上は個人が管理し、更にその 8 割以上が電子ファイリングすることで、紙原本を廃棄可能とされています。

Archives ソリューションは、ScanSnap などの小型スキャナを活用して紙が集まる各場所で電子化を行うことで、紙を溜めないワークスタイルを実現します。パーソナル、ワークグループ、エンタープライズといった構成でのコンテンツ管理をトータルに改善することで、紙文書から経営資源を解放します。

2 事業戦略と展開

当社のイメージスキャナの事業戦略は二つに大別されます。一つは現在のビジネス領域であるデータエントリー分野でのビジネスの拡大であり、もう一つは新市場である一般オフィスでのスキャナの拡販です。

(1) データエントリー分野でのビジネス拡大

これは、ドキュメントマネジメントと呼ばれ、基幹システムにデータエントリーを行う業務に用いられています。例えば、保険会社では、保険の申込書は、手書きで捺印 (サイン) があり診断書などが添付された文書でイメージ入力、管理されています。運送業での帳票管理や医療での処方箋、カルテなど紙文書や帳票入力はほとんどの業種で基幹システムに連携して用いられています。これらは入力ミスがあってはならないミッションクリティカルなニーズで、高性能、高品質が顧客の生産性に直接反映します。Fujitsu Image Scanner fi シリーズは高品質のブランドとして、ドキュメントマネジメント分野では、認知されています。

このドキュメントマネジメント市場でも近年、インターネットの普及と共に大きな変革が起きてきています。分散入力と呼ばれる入力形態で、前述の保険会社の例で説明すると、従来は代理店や支店で獲得した新規申込書を、本社の事務センターに送付して大型の高速スキャナで一括入力が行われていました。一方、分散入力では、各代理店や支店に小型のスキャナを配備して読取りを行い、読取った申込書の読取り画像をネットワークで本社センターに送ります。この分散入力では、申込書の輸送コストが削減されるだけでなく、申込処理が非常に早く行われ、業務効率を改善するだけでなく、顧客満足度の向上に繋がります。

当社の fi シリーズスキャナは、一日あたりの読取り枚数が多い集中入力

用途に適した高速読取モデルからコンパクトで設置場所を選ばない分散入力に適した小型モデルまで、幅広いラインアップを取り揃え、顧客の利用用途に適した製品を選ぶことができます。図 - 2 に fi シリーズイメージスキャナラインアップを示します。

(2) 一般オフィス分野でのスキャナ拡販

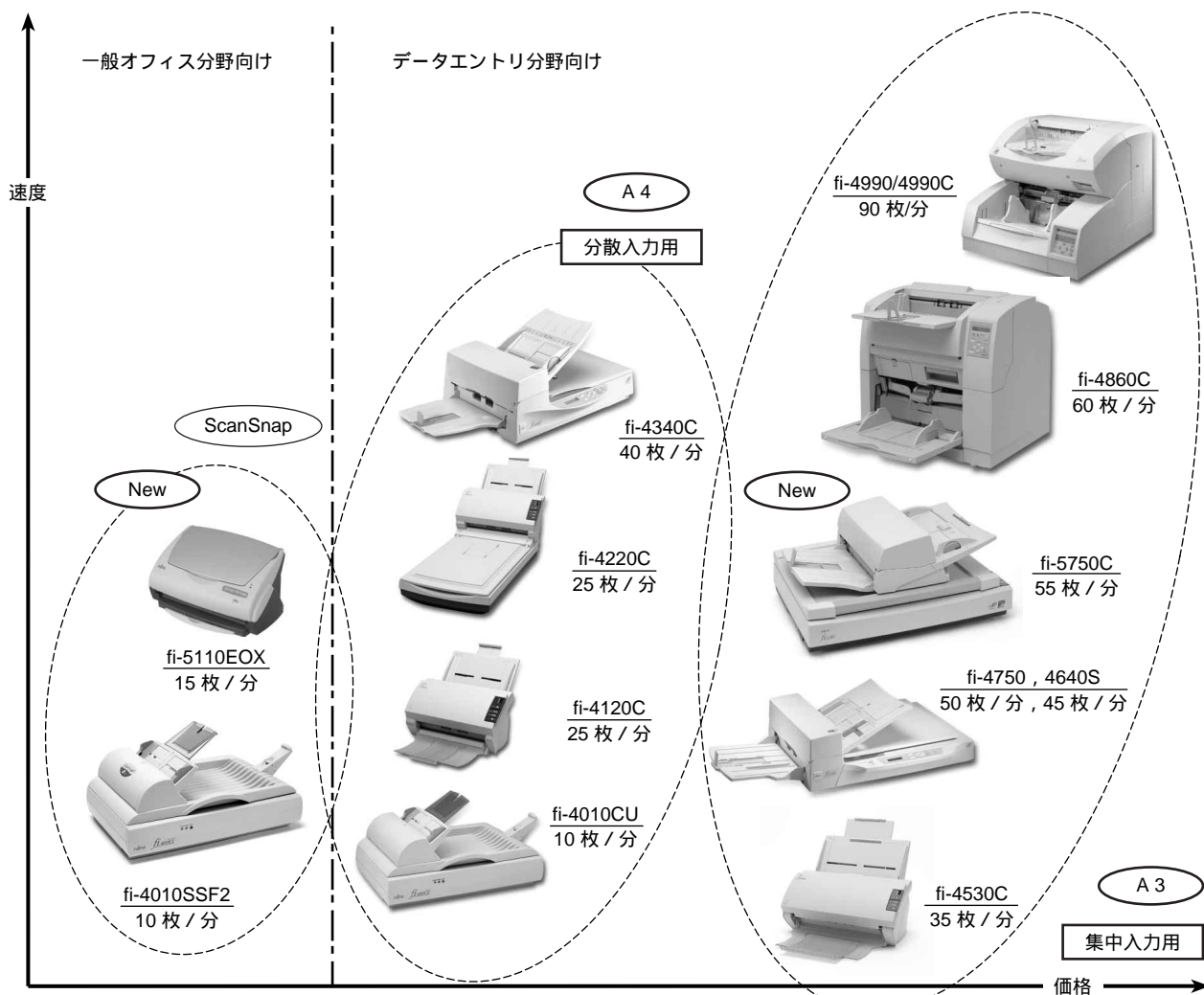
当社の A4 両面カラーイメージスキャナの ScanSnap シリーズは、一般オフィスに溢れる紙を電子化して、業務の効率アップと業務コストの削減を狙っています。

今までも紙文書を電子化して、ファイリング化することは提案されてきましたが、「場所をとる」、「読み取りが遅い」、「設定が面倒」、「操作が複雑」といったことから紙を電子化してファイリングすることが一般化されていないのが現状です。

ScanSnap は、これら四つの問題をすべて解決します。しかも電子化ドキュメントの世界的な標準フォーマットである PDF での管理を提案して、Adobe Acrobat の同梱で検索性を向上しています。

また、ScanSnap によるファイリングを更に使いやすくするアプリケーションとしてリアルな書庫・ファイル環境をパソコン上に実現する楽²ライブラリ(らくらくライブラリ)を開発しています。

以上の通り当社のイメージビジネスへの取組みについて、述べさせていただきましたが、本特集号では、これから益々ニーズが拡大していくイメージ関連製品の開発技術や、サービス・ソリューションによるシステム事例の一端をご紹介させていただきます。今後、イメージングを通して、お客様にとって最適なソリューションの提供を目指して参りたいと考えております。



注) 速度 : A 4 用紙, 200 dpi, モノクロ片面読取時

図 2 Fujitsu Image Scanner fi シリーズのラインアップ
(Fig.2-Fujitsu Image Scanner fi series line-up)